

三田市民病院

内科

指導担当医（役職）

吉川 糧平（循環器内科部長）、田中 秀憲（消化器科部長）

実習概要

概要

（循環器内科）

循環器内科の一員として、カテーテル手術・検査を研修医と同様に見学していただきます。

毎週火曜日・木曜術前カンファレンスや毎週水曜の内科系カンファレンス会議にも参加していただきます。また、外来診療や救急外来の診療に同席していただき見学もしていただきます。

（消化器内科）

指導医とともに数人の入院患者を担当してもらいます。なるべく4週間の間に治療ないしは方針決定が完了する疾患を担当し、1-2症例はサマリーしてもらいます。消化器内科は救急→処置と進む症例が多いため、救急対応も学ぶことができます。また内視鏡検査に興味があれば、モデルなどを用いて内視鏡操作を体験できます。

医療面接

（循環器内科）

病棟で指導医・研修医と一緒に診察や検査・治療に同席いただきます。

指導医とともに外来及び入院患者の身体診察を行います。

（消化器内科）

毎日午前と帰宅前には担当患者を訪室し、医療面接、身体診察を行ってください。

外来での問診は予定していませんが、救急外来での初期対応に担当医とあたってもらいます。

身体診察

(循環器内科)

心エコー検査を指導医のレクチャーを受けながら経験していただきます。また、心臓リハビリの必要な患者に心臓リハビリの診察やCPX（肺運動負荷モニタリングシステム）の実施についても同席いただき経験していただきます。

(消化器内科)

消化器科中心の身体診察ですので、貧血の有無、黄疸の有無、腹部所見などが中心となります。直腸疹も非常に大事な検査ですので、経験してもらいたいと思います。腹部エコーは循環器科の聴診器と同レベルで理解が必要ですので、機会があれば積極的にエコーにふれてください。

カルテ記載

学生カルテ記載場所を電子カルテ上に用意していますので、そこに毎日記載してもらいます。指導医が確認します。

症例プレゼンテーション

毎週水曜に内科合同カンファレンスにおいて、1年目の研修医が毎週症例発表をしていますので、そこでの発表があります。

その他（特色など）

地域の中核病院であり、救急の症例には事かきません。2次救急の患者が多く、外来初期対応から緊急処置までの流れが経験できます。

内視鏡治療には特に力をいれています。

学生へのメッセージ

(循環器内科医師より)

当科は24時間365日「断らない救急」を掲げて、積極的に循環器疾患の救急患者の受入を行っております。また、毎日循環器内科医師が当直を行っている施設も近隣では当院だけです。カテーテル治療室については3室あり、予定手術も勿論の事、緊急症例に対応すべく十分な設備と人員をそろえております。循環器内科医師を志す学生の方はぜひ経験していただきたいです。濃密な4週間になると思います。

(消化器内科医師より)

ほどよい田舎の数少ない救急病院ですので、毎日が忙しく気の休まる間もありませんが、ただ仕事に追われるのではなく、見識や技術を少しずつでも向上させ、また後進に伝授することを心がけています。現場の好きな人には勉強になると思います。